

今は未来のためにある

令和8年度に高める力のキーワード

「あいさつ」、「黙働」、「敬語」、「アンテナ力」

No.15 令和8年7月2日 発行者;校長 小倉 大二

【学校教育目標】

校訓「誠実・勤勉・礼儀」に則り、
思いやりの心をもち、
新たな価値創造に挑戦する中で、
母校への誇りをはぐくむ生徒の育成

A I 型学習アプリ「^{キ ュ ビ ナ}Qubena」を導入

本市の子どもたちの「学力向上」「家庭学習の習慣づくり」を目的に AI 型学習アプリ「Qubena」が全ての小中学校に導入されることが決まりました。昨年度、11月から1月まで、AI 型学習アプリを使った家庭学習の検証を行いました。その成果をもとに、本年度の夏から本市立小中学校の児童生徒に「Qubena」のアカウントが配布されることが決まり、つい先日、その環境づくりが整備されたところです。(4、5月は使えませんでした。)

【AI 型学習アプリ「Qubena」の特徴】

- AI が即座に自動採点し、解き方や考え方を提示します。
- 何度か問題を解くことで、AI が個人個人の学習定着傾向を見取り、個々の習熟度にあった問題【発展問題、下学年(小学校を含む)の内容を学び直す問題】を出題します。
- 生徒一人一人の習熟度に合わせて最適な問題を出題するため、教師や教える人がいない状況でも個々の理解度に合った効率的な自主学習が可能になります。
- 「①どの生徒が」「②どれくらいの時間をかけて」「③どれくらい(量・質)の問題を」「④どれくらいの正答率で」「⑤どれくらいのペースで解いたのか」「⑥繰り返し解き直したか」等のデータが蓄積されます。また、上記の生徒個々の情報データを、グラフ化された形で教師側が把握できます。

松ヶ江中学校では、昨年度の1・2年生の検証結果を踏まえ、以下のルールで、家庭学習を中心に「Qubena」を活用していきます。

【「Qubena」を活用した家庭学習(宿題)のルール】

- 曜日ごとに教科を決め、毎日最低30分は家庭学習に取り組むようにします。
月…国語、火…社会、水…数学、木…理科、金…英語 (土日は出しません)
- 30分で切れるタイマーをセットしています。その中で、できる範囲の学習をします。問題がわからない生徒に対して、AI が何につまずいているか、理解できていないところを判断し、小学校の内容から復習させる問題が出ます。その場合、そもそもの問題にたどりつくまで、3~4時間以上かかる場合もあるため、健康面・意欲面を考慮し、時間制限を設けました。
- 通常の課題を終了したら、生徒に合わせて発展問題や難しい問題を AI が出題します。30分経ってタイマーが切れた後、もっと勉強したい人は、再度、問題に入り直せば、いくらでも難問にチャレンジできます。高校入試対策の問題もあります。ただし、健康面には気を付け、30分ごとに目を休める時間を設けるようにしましょう。
- 寝不足を考慮し、23時から翌日5時まで、タブレット端末は使用できないようになっています。

本校の人権教育の様子

本校は、数十年来、「人権教育」を学校研究の主テーマにして研究を進めている学校です。

人権教育とは、一人ひとりがかけがえのない存在であり、互いに尊重し合って生きていく力を育てる教育を意味します。子どもたちは、日々の生活や学習の中で、「自分も大切」「友達も大切」という気持ちを学んでいきます。これは、いじめの防止や思いやりのある行動にもつながります。

社会が多様化する現在、相手の立場を考え、自分と違う考えや背景を理解しようとする姿勢は、将来にわたって必要な力です。このような力を育むために、本校では、授業や行事、日常生活を通して、平和や差別等についての取組を行っています。今回、本校の人権教育の様子を紹介します。

平和学習（沖縄慰霊の日）6/26

今年で、太平洋戦争が終わり 81 年を迎えました。戦争とは無縁の現代の子どもたちに戦時中に起きたことや戦時中の暮らしを学んでもらうために、学校教育において平和に関する学習が重視されています。6月23日は、「沖縄慰霊の日」です。6月23日は、旧日本軍の組織的な戦闘が終わったとされる日で、「慰霊の日」と定めています。本校では、毎年6月23日の朝自習の時間、沖縄慰霊の日に関する放送を流すととともに、戦争の悲惨さを伝えています。以下は、放送後の生徒たちの感想です。

- 自分と相手のことを日頃から大切に思っていたら、争いは起きなくなるのではないかと思った。今、まわりにいてくれる人を、当たり前ではない有難いこととして見て、お互いに助け合い、支え合っていこうと思いました。
- 私が生まれた時には、すでに日本での戦争はなくなっていたので、戦争の恐ろしさを知りませんが、知らないままにするのではなく、しっかり知って、今後、二度と戦争が起きないために、平和について考えることが大切だと思いました。

三校人権教育研修会 7/1

松ヶ江中学校区の1中学校、2小学校が連携し、毎年当番校を決め、教員間の人権教育の授業参観を実施しています。今年は、本校が当番校でした。そこで、7月1日（水）の午後、松ヶ江北小学校、松ヶ江南小学校の先生方を本校にお招きし、授業参観、並びに、情報交換会を行いました。

授業参観では、本年度は「同和問題」をテーマに、1年生は「識字」、2年生は「結婚差別」、3年生は「就職差別」に関する授業を公開しました。

授業後の情報交換会では、日々の学校生活の中で見られる差別的言動、そして、その対処方法等について情報交換を行い、小中間での指導方法の共通理解を図りました。



国際赤十字社は「人道（人として守り行うべき道）」の「4つの敵」として、以下を挙げています。

- 利己心…自分のことだけを考え、他人の迷惑をかえりみない心。
- 無関心…興味や関心をもたないこと。「見て見ぬふり」をすること。
- 認識不足…ある物事に対しての知識に欠けていること。
- 想像力の欠如…この先の見通しや、人の気持ちを想像できないこと。

近年、戦争もそうですが、報道等に流れる中・高生による暴力動画をはじめとする残酷な事件、様々な差別やいじめなどをなくすためには、個々が、この4つの敵に打ち勝つ必要があります。

本校生徒には、この4つの敵に関して、アンテナ力を高くし、よりよい学校・社会をつくってほしいと思います。